2021年2月1日
O2-他-F-19-0011_改0

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表（土木耐震）

No.	指摘日	図書種別，図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への反映箇所	回答状況	備考
申	設置変更許可審査からの申送り事項No.41【C-1】	設置基準条文 4条	耐震設計（後施工せん断補強筋による耐震補強）	—	ディープビーム的な破壊形態が想定される部材へのCCb工法の適用性の補足確認として，ディープビームを対象とした実験を行い，その結果は詳細設計段階で示す。	ディープビームを対象とした模型実験を行い，実験から得られるせん断耐力が，CCbのせん断耐力の補強効果を示す有効率（β_{aw}）を考慮した棒部材式から算定されるせん断耐力を上回ることを確認した。 また，せん断スパン比がディープビーム式で想定する破壊形態の範囲内でも，同じ棒部材式により評価することの保守性を確認した。	補足610-20(O2-補-E-19-0610-20_改2)参考資料6	今回回答	設置変更許可審査からの申送り事項であるため，コメント内容欄には事業者の対応方針を示す
申	設置変更許可審査からの申送り事項No.42【2-7】	設置基準条文 4条	耐震設計（後施工せん断補強筋による耐震補強）	—	面内荷重と面外荷重が作用する部材へのCCb工法の適用性の補足確認として，数値解析（静的材料非線形解析）を行い，その結果は詳細設計段階で示す。	三次元非線形ソリッド要素で面部材をモデル化し，面外荷重として等分布荷重を作用させた場合のCCbの状態が，更に面内せん断変形を作用させた時においても変化が生じず，面内荷重はCCbには影響のないことを確認した。	補足610-20(O2-補-E-19-0610-20_改2)参考資料6	今回回答	設置変更許可審査からの申送り事項であるため，コメント内容欄には事業者の対応方針を示す